

市町村名	金武町						
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 温泉掘削事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	基地跡地推進課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)		
事業内容	ギンバル訓練場跡地に癒しの場となる温泉施設を整備し、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を目指すため、温泉水脈の掘削工事の実施を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	142,983	-				
	(b)予算現額	142,983	-				
	(c)増減額(b-a)	-	-				
	(d)繰越額	-	142,983				
	A.計(b+d)	142,983	142,983				
	B.執行済額	0	123,303				
	うち交付金充当額	0	98,642				
	次年度繰越額	142,983	-				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	86.2%				
予算の状況の説明	掘削予定箇所は、基地跡地中央部に位置しており、その西側から工事車両が進入し、工事を実施する予定であったが、当該箇所において、埋設物が確認され、防衛省による施設撤去に日数を要したため事業を繰越して実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
		25年度	26年度	27年度	28年度		
	温泉掘削の実施 (掘削深さ1,000m~1,500m)	目標 (温泉掘削工事の実施)	()	()	()		
	実績	温泉掘削工事の実施					
達成状況説明	1,500mの掘削工事を実施し、温泉が湧出された。今後は温泉施設の整備を図り、跡地利用を推進していく。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	水脈量、成分の分析	目標	()	(水脈量、成分分析の実施)	()	()	(100%)
		実績		水脈量、成分分析の完了			
	温泉掘削工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()	()
実績			工事の完了				
進捗状況説明	掘削工事を実施し、温泉の湧出が確認された(水脈量:400 /分、34 成分:ナトリウム 塩化物強塩温泉) 今後は温泉施設の設計、工事を実施し、癒しの場として温泉施設を整備する。						

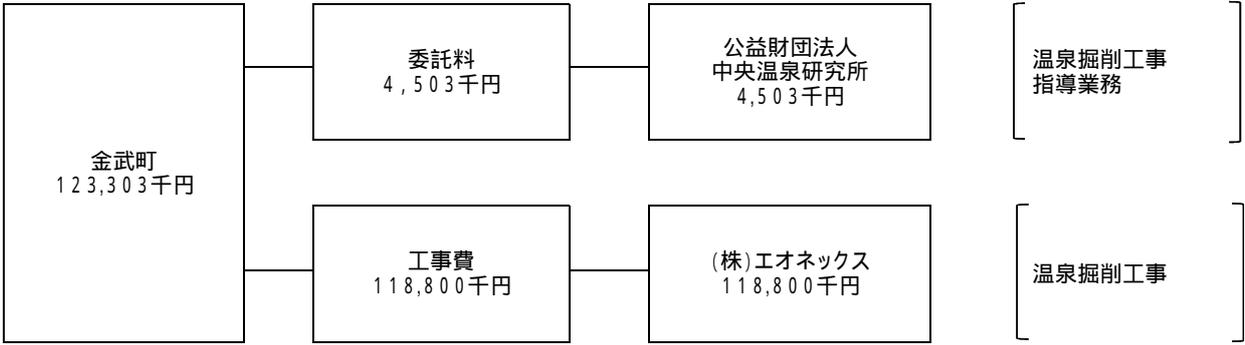
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を図るため温泉施設整備を目指す。 掘削工事が完了し、温泉の湧出が確認された。 水脈量、成分においても温泉として利用する上で十分な結果が得られた。 今後、温泉施設を整備し、新たな観光リゾート地の形成に向けて取り組む必要があるが、温泉地としての認知度が低い事が課題である。</p>	<p>沖縄県が目指す安全・安心・快適な観光地の形成の一つとして温泉施設の整備を目指す。観光地として認知度向上に努める必要がある。 今後、県内外へのアピールとして情報発信を強化する必要がある。 また、温泉施設規模・形態の検討が必要である。</p>

今後の取り組み方針

温泉施設の設計・工事を実施し、新たな観光リゾート地の癒しの場として、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り、町の活性化を目指す。
ホームページや広報誌、SMS等を活用し、温泉施設の認知度向上を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
123,303	123,303	98,642	24,661	0



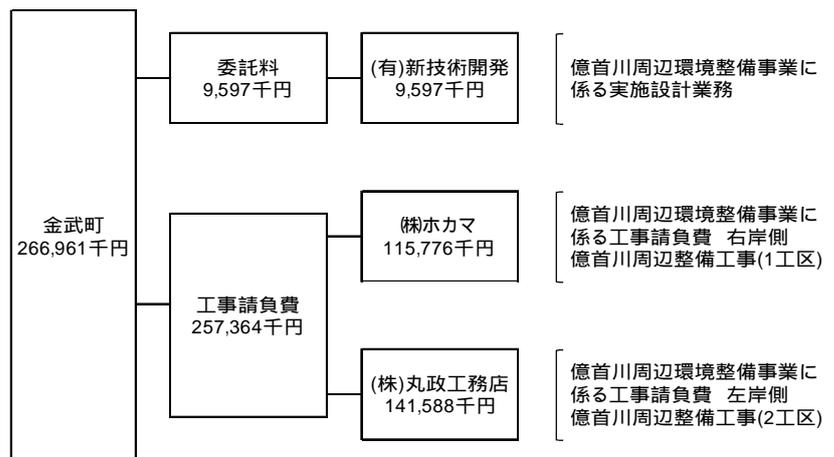
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>工事業者は指名プロポーザル方式によって選定しており、妥当であったと考えられる。 不用額は入札残であり、適正であったと考える。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 億首川周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)		
事業内容	ギンバル訓練場跡地開発地に隣接する2級河川の億首川管理用通路を整備することにより、周辺地域一帯となった観光資源の拡充を行うことを目的とし、本年度は、設計及び、工事を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	266,994	-			
		(b)予算現額	266,994	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	257,397			
		A.計(b+d)	266,994	257,397			
	B.執行済額	9,597	257,364				
	うち交付金充当額	7,677	205,891				
	次年度繰越額	257,397	-				
	執行率(%) (B/A)	3.6%	100.0%				
予算の状況の説明	当該事業は、2級河川の億首川の管理用道路を整備するものであるが、河川管理者である沖縄県との河川協議に不測の日数を要したことから、年度内での工事着手ができず翌年度へ繰越し工事を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	億首川管理用通路に遊歩道を整備(両岸延長:L=約2.6km・幅員:W=3.0m)	目標	(完了)	()	()	()	
		実績	完了済み				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	観光資源の拡充を行うことを目的とし、2級河川である億首川の両岸にある管理用道路の整備が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	億首川管理用通路に遊歩道を整備	目標	()	(整備)	()	()	(100%)
		実績		整備済み			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	観光資源の拡充を行うことを目的とし、2級河川である億首川の両岸にある管理用道路の整備が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>2級河川である億首川周辺地域一帯の観光資源の拡充を行うことを目的とし、無舗装道路の整備を実施した。</p> <p>現況が無舗装道路であった為に降雨後に水たまりが出来たり、猛暑による乾燥で粉塵が発生したり等、自然体験学習実施に困難な状況を与えていたが、整備後は粉塵の発生が抑えられ天候に殆ど影響を受けずに、良好な自然体験学習等が実施されている。</p> <p>また、周辺地域が農業地域であり粉塵による農作物への影響も改善された。</p>	<p>億首川周辺は2.6haのマングローブ林、県内有数の野鳥飛来地、吃水域にすむ多くの甲殻類や魚類といった、コンパクトな中に様々な自然が集中した貴重な自然学習の場所である。今回遊歩道を整備し多くの方が、気軽に訪れる事の出来る条件が整ったが、もう一步踏み込んだ形の体験学習を促進するのが、今後求められる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>億首川周辺で現在行われている主な自然体験学習は、インストラクターの指導のもと、カヌー体験学習、既に整備されているマングローブ林に設置されたボードウォーク(擬木製の遊歩道)を利用したマングローブ林と干潟の小動物の観察、カヌーを利用した億首川の中からのマングローブ観察、水田地域を含めた野鳥観察等がある。</p> <p>現在、野鳥観察はインストラクターの案内で川沿いや田園地域を徒歩による観察を実施しているが、貴重種が観られるのは難しい状況であり、長時間身を隠して貴重種の飛来を待つ事の出来る野鳥観察小屋の設置を検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
266,961	266,961	213,568	53,393	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>実施設計・工事ともに金武町入札参加者資格審査委員会の審議を受け入札を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>積算基準に沿った予算規模となっているため適正と判断している。</p> <p>費用・使途については、当初からの目的の通り、利用者が快適・安全に利用できる整備が実現されており、適正であると考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	